

浄土真宗本願寺派東京教区南組 大田区本羽田3-17-6 海岸寺内 TEL. 3742-0921

特集
P4-5

実は縁が深い!?

落語と仏教

講師...落語家 林家 染二 師匠

おい わけ 函館別院と追分の里

え ざし 江差を訪ねて

団体参拝

P6-7

函館別院

江差別院

五稜郭公園

南組活動報告

目次

- P2 ——— 親鸞聖人のことば
- P3 ——— 寺院紹介 最徳寺
- P8 ——— 法統継承式のお知らせ

浄土真宗Q&A 念ねんじゆ珠

親鸞聖人のことば

人生そのものの問い

(『拝読 浄土真宗のみ教え』より)

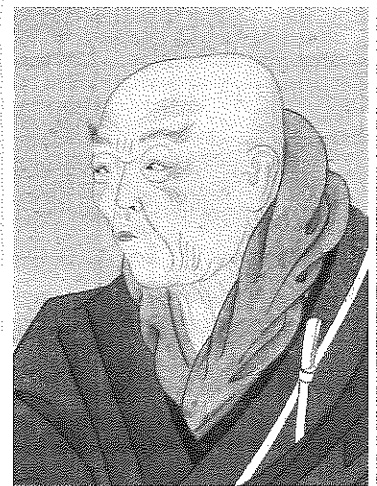
日々の暮らしのなかで、人間関係に疲れた時、自分や家族が大きな病気になった時、身近な方が亡くなった時、「人生そのものの問い」が起こる。「いったい何のために生きているのか」「死んだらどうなるのか」。

この問いには、人間の知識は答えを示せず、積み上げてきた経験も役には立たない。目の前に人生の深い闇が口を開け、不安のなかでたじろぐ時、阿弥陀如来の願いが聞こえてくる。

親鸞聖人は仰せになる。

弥陀の誓願は無明長夜のおほきなるともしびなり

「必ずあなたを救いとる」という如来の本願は、煩惱の闇に惑う人生の大いなる灯火となる。この灯火をたよりとする時、「何のために生きているのか」「死んだらどうなるのか」、この問いに確かな答えが与えられる。



みょう こう さん
明光山

さい とく じ
最徳寺

南組の寺院紹介



大田区大森北3-18-25 ☎ 3761-6811

最徳寺は天福2年(1234年)9月の創建です。開基の永頼えいとんは、藤原鎌足公の玄孫・内磨公より五代目の和泉国守李平いずみのくにのかみすえひらの孫・頼康よりやすの子孫で、源頼朝公が建立した相模国三浦郡野比郷(現在の横須賀市野比)にある五明山最宝寺の開基・明光上人めいこうの弟です。源頼朝公は伯父にあたります。

永頼は天台宗の僧侶でしたが、兄に従い鎌倉において親鸞聖人の教化を受け改宗し、現在地に寺基を定めました。兄・明光上人の名を山号にいただき「明光山西蓮坊智慧光院最徳寺」と号しました。

また、近代では早くから子供達のために寺子屋を開校し、地元近隣の小学校の始まりとして、重要な役割を担いました。

現在も法要儀式だけでなく、仏教婦人会、若いご門徒の懇親じやくとくかいの場である若徳会、コーラスの練習会や折り紙教室等を開いています。



浄土真宗 Q&A

Q

ねんじゅ

念珠の持ち方は? どんな時に用いるの?

A

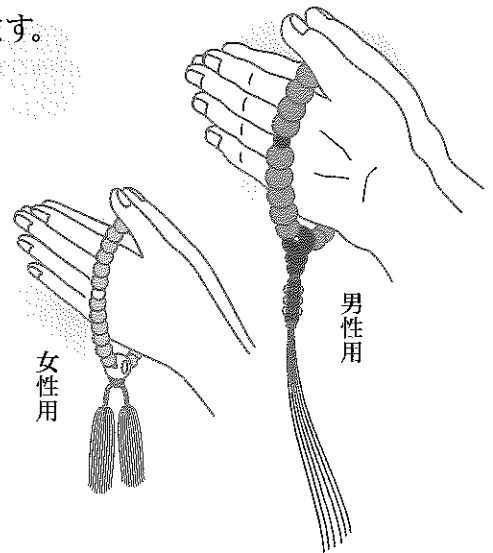
念珠の起源は、諸説あるものの定かではありません。日本では飛鳥時代に仏教とともに伝来し、鎌倉時代から広く用いられるようになりました。

念珠の使い方や形は、宗派によって違いがあります。浄土真宗ではご本尊の阿弥陀如来や祖師がたの尊前で礼拝するとき用います。蓮如上人が著された『御文章』には、「念珠を持たない人は、み仏をうやまう気持ちがかけているようです。親鸞聖人は、念珠を捨ててみ仏を拜めとおっしゃったことはありません」と書かれています。

ご門徒用の念珠は単輪(輪が二重になっていないもの)で、男性には紐房ひもぶさ仕立てのもの、女性には切房きりぶさ仕立てで小型のものが好ましいとされています。玉の数や材質に決まりはありません。左手で保持し、合掌のときは両手を合わせて輪の中に入れ、親指と他の四指との間に念珠をかけます。

念珠は、畳や床の上など歩行する場所にじかに置かないように気をつけてください。必ず適当な敷物の上に置くか、念珠入れなどを利用しましょう。

なお、浄土真宗では念仏の数取りをしませんので、「数珠じゆず(珠数)」ではなく「念珠ねんじゅ」と呼びます。



深い!? 落語と仏教

どちらも、人間の本当のすがたを見せてくれます



実は、落語は仏教と縁の深い
芸能なのです。

落語の祖とされていますのは、
今から400年ほど前の僧侶、
安楽庵策伝あんらくあんさくでんです。策伝は教えを
説くとき、聞く人が退屈しない
ように面白おかしい話を織り交
ぜていたのです。その話は『醒
睡笑せいすいしょう』という書物にまとめられ
ました(現代語訳が出版されて
います)。「醒睡笑」には、今も
演じられる落語の原型になった
小咄こはなしがいろいろと載せられてい
ます。策伝が「落語の祖」と呼
ばれるのはそのためです。策伝
ゆかりの寺院、誓願寺(浄土宗



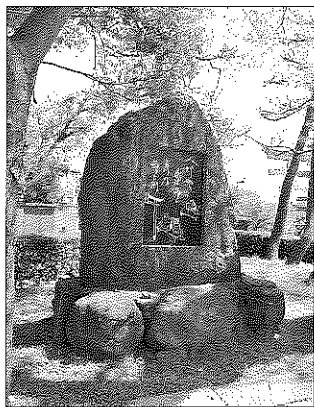
策伝ゆかりの誓願寺



誓願寺の堂内にある策伝の絵

西山深草派本山、京都市中京区)
では毎年10月初旬の日曜日に「策
伝忌」を営み、追慕の法要とと
もに奉納落語会を開催していま
す。

さらに今から300年ほど前、
京都に初代・露の五郎兵衛つゆごろうべゑが現
れます。五郎兵衛はプロの落語
家の先駆けで、日蓮宗の僧侶で
もあったのです。



北野天満宮にある露の五郎兵衛記念碑

こういった歴史がありますの
で、落語には仏教を題材にした
ネタがいろいろとあります。ご
存じの方も多い「寿限無じゆげむ」もそ
のひとつです。この落語では、

子どもにどんな名前をつけられ
いいかお坊さんに相談します。
いろいろと提案された名前をす
べてつけて、とてつもなく長く
なってしまうのですが、その名
前のひとつが「寿限無」でした。
「寿限無」は阿弥陀如来あみだにょらいの別名
「無量寿如来むりやうじゆ」に通じます。

落語と仏教のつながりは、仏
教を題材にしたネタがあるとい
うにとどまりません。仏教と落
語はどちらも、人間はみつとも
ないことや腹黒いことをする、
時には悪事にも惹かれるという
ことを見せてくれます。故・立
川談志師匠が「落語とは、人間
の業の肯定である」と語ってい
たのは、このような意味を込め
ているのでしょうか。それを「笑
ってしまおう」というのが落語
で、「このままでは結局自分を苦
しめることになります」と教え
るのが仏教です。

仏教と落語の縁の深さが知ら
れることで、落語に潜む宗教性
や、仏教への興味が高まること
期待したいものです。

参考文献：釈 徹宗 著

『おてらく』 落語の中の浄土真宗
(本願寺出版社)

(編集部)

講座レポート

仏教壮年講座

2013年10月5日(土)

噺の根本には み教えが流れている

講師

落語家 林家 染二 師匠

2013年の仏教壮年講座では、落語家の林家染二師匠に落語を演じていただきました。染二師匠は宗門校の龍谷大学を卒業後、四代目林家染丸師匠に弟子入りし落語家を志して以降、龍谷奨励賞、文化庁芸術祭演芸部門優秀賞、天満天神繁昌亭大賞など現在に至るまで様々な賞を受賞。また日本だけでなく海外でも活躍され、名実ともに落語界を代表する方です。

落語は噺もさることながら本題に入るまでの小噺、いわゆる「枕」が楽しみのひとつでもあります。落語家の個性がキラリと光る「枕」は実力も問われるところですが、29年という長きに渡り多種多様な客層を楽しませてきた染二師匠はさすがです。お寺での公演にふさわしい仏教的なくだりからご自身の在籍されている吉本興業の裏話、大学講師時の珍事、様々な落語家の面白話などなど、文面には書き切れないほどの多種多様な話題を軽妙な語り口で披露していただき、聴衆を笑いの渦に引き込んでいました。

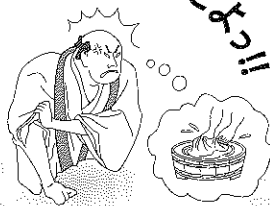
その後の本題では、前半に話の掛け合いが面白い「手水廻し」、少しの休憩を挟んでの後半には、泣ける噺「子は銚」を演じていただきました。噺の筋は代々受け継がれてきた古典落語。しかしその中に出てくる登場人物のセリフの端々に仏教の言葉があったり、お坊さんが登場したりと、当時の民衆に仏教が浸透し親しまれていたのだなと思わされる場面がいくつも散りばめられておりました。噺の根本にはみ教えが流れている、そんな事を思わせていただいた講演でありました。



講座で演じられた噺のあらすじ

ちようずまわ
手水廻し

「ちようず」だよ!!



宿泊客から「ちようずをまわしておくれ」と頼まれた田舎宿では、ちようず(手水)を洗面道具のことだと知らなかった。近所のお寺に相談に行くと、お坊さんは物知り顔で「ちようずは長頭のこと」と答える。そこで、村で一番顔の長い男を宿泊客のところに連れて行き、頭を回してもらったが、客を怒らせてしまう。



かすがい
子は銚

大工の熊五郎は酒癖が悪く、妻と子どもは愛想を尽かして家を出て行ってしまふ。それから3年後、熊五郎はお寺の法座に通うなどして心を入れ替え、断酒し真面目に働いていた。ある日、別れた子どもと街角で再会する。貧乏暮らしをしている子どもを不憫に思って小遣いを持たせるが、母親はその小遣いを盗んだ金と勘違いし金槌を振り上げて子どもを叱る。子どもは父親との再会を告白し、ついには夫婦仲を取り持つ。

熊五郎 「子は夫婦の銚だな」
子ども 「わいは銚か。それでお母は金槌で叩くって言ったのか」



わけ 分の里、江差を訪ねて

み教えを大切にした

先人のこころに遇^あう

今回の旅行では北海道にある函館別院と江差別院に参拝いたしました。

初日にまず向かいましたのは函館別院です。こちらのご本堂は平成25年5月に再建されました。昭和初期に火事で焼けてしまったレンガ造りの本堂をイメージして設計された建物で、独特な洋風の外観は素晴らしいものでした。

2日目に参拝した江差別院は今から130年前に創建されました。明治11年に新築されたご本堂は、近江商人達が故郷から北前船で運んできた木材などを使用して建てられたそうです。

どちらの別院も歴史の重さを感じさせる建物で、み教えを大切にされていた先人たちのこころを今に伝えていきます。

また参拝ばかりでなく、五稜郭

南組活動報告

2013年(平成25年)の活動

4月27日(土)〜30日(火)

築地本願寺親鸞聖人750回大遠忌法要
団体参拝

6月24日(月)〜26日(水)

「函館別院と追分の里、江差を訪ねて」
団体参拝旅行

9月2日(月)

御同朋の社会をめざす運動(実践運動)
推進僧侶研修会



講師：熊原 博文氏
(社団法人仏教情報センター理事)

10月5日(土)

仏教壮年講座
講師：林家 染二師匠(落語家)

2014年(平成26年)の予定

6月30日(月)午後1時30分

仏教婦人会連盟総会・研修会
「保谷果菜子さんによる
金子みすゞ一人舞台」

会場 築地本願寺
ブティストホール

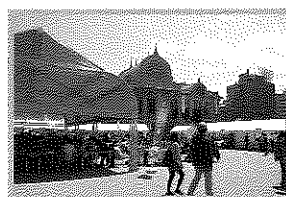
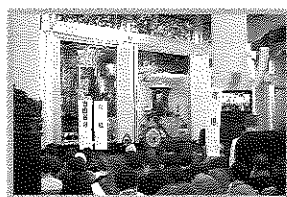
9月5日(金)

御同朋の社会をめざす運動(実践運動)
推進僧侶研修会

10月18日(土)

仏教壮年講座

2014
(平成26年)
予定



2013
(平成25年)

築地本願寺親鸞聖人750回大遠忌法要の様子

函館別院と追

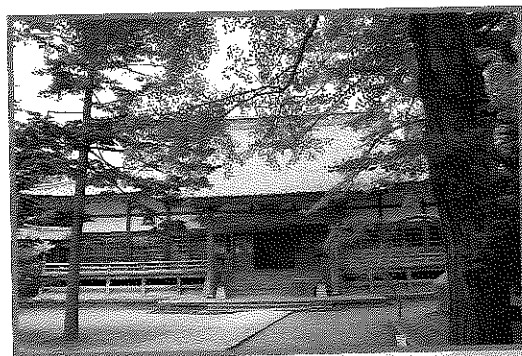
平成25年
6月24日(月)~26日(水)

団体参拝

などの有名な観光地をめぐり、お土産を買ったり美味しい物を食べたりと、楽しみの多い旅になりました。



江差別院



函館湾クルーズ



函館山ロープウェイ

主な日程

1日目
函館別院参拝
函館市内散策
函館湾クルーズ

2日目
江差別院参拝
江差追分会館・江差山車会館
江差いこしえ街道散策

3日目
金森赤レンガ倉庫
五稜郭公園

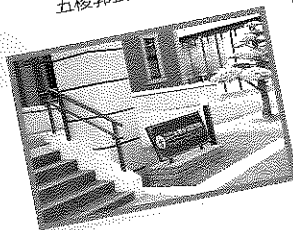


五稜郭公園



● 江差

● 函館



函館別院

恒例?のカラオケ大宴会



賑やかで楽しい一時でした

法統継承式のお知らせ

浄土真宗本願寺派の第24代ご門主^{もんしゅ}・大谷光真様は6月5日で退任されます。第25代ご門主には、ご長男の大谷光淳^{しんもん}新門様が就任されます。ご門主の交代は1977年(昭和52年)以来です。

光真ご門主は「10年後には(親鸞聖人の)ご誕生850年を迎えます。新たな歩み始める良い時期だと考えます」と述べられ、また「新鮮な感覚と知識をもって、任を果たしてくれることと思います」と光淳新門様への期待を表されています。

京都・西本願寺では下記の日程でご門主の代替わりとなる法統継承式が執り行われます。

2014年(平成26年)

6月5日(木) 午後3時30分より… 第24代ご門主ご消息発布式

6月6日(木) 午前10時より…… 法統継承式
引き続き…… 第25代ご門主ご消息発布式

南組(みなみぞ)とは

浄土真宗本願寺派では、全国を31の「教区」と沖縄開教区に区分けして、各教区を地域ごとに「組(そ)」に細分しています。関東地方・山梨県・静岡県は「東京教区」に属しており、その中で東京都品川区・大田区・目黒区と世田谷区の一部は「南組」の地域です。本誌で紹介しましたように、南組の寺院は組としての共同の活動に取り組んでいます。

南組に所属する浄土真宗本願寺派(お西)のお寺です

西光寺 ^{さいこうじ}	品川区大井4-22-16	☎ 3777-6070	延徳寺 ^{えんとくじ}	大田区萩中1-12-17	☎ 3732-1472
最徳寺 ^{さいとくじ}	大田区大森北3-18-25	☎ 3761-6811	福称寺 ^{ふくしょうじ}	大田区萩中1-12-20	☎ 3738-1720
徳浄寺 ^{とくじょうじ}	大田区大森東1-16-22	☎ 3761-4127	妙覚寺 ^{みょうかくじ}	大田区萩中1-12-29	☎ 3738-3091
厳正寺 ^{ごんしょうじ}	大田区大森東3-7-27	☎ 3761-4945	善永寺 ^{ぜんえいじ}	大田区萩中1-11-24	☎ 3739-5641
久宝寺 ^{きゅうほうじ}	大田区本羽田3-17-1	☎ 3742-0886	真光寺 ^{しんこうじ}	大田区萩中1-13-6	☎ 3731-5644
海岸寺 ^{かいがんじ}	大田区本羽田3-17-6	☎ 3742-0921	浄興寺 ^{じょうこうじ}	大田区東矢口2-10-9	☎ 3759-8673
福泉寺 ^{ふくせんじ}	大田区萩中3-27-10	☎ 3742-2048	唯称寺 ^{ゆいしょうじ}	品川区小山4-9-15	☎ 3782-2486
光教寺 ^{こうきょうじ}	大田区中央4-35-3	☎ 3771-9408	宗導寺 ^{しゅうどうじ}	目黒区目黒本町6-19-3	☎ 3712-6811
専浄寺 ^{せんじょうじ}	世田谷区等々力6-7-10	☎ 3701-4753	西教寺 ^{さいきょうじ}	品川区豊町1-8-12	☎ 3781-6154
報身寺 ^{ほうしんじ}	大田区萩中1-11-16	☎ 3738-0870	善照寺 ^{ぜんしょうじ}	大田区南馬込4-9-11	☎ 3771-8700
正覚寺 ^{しょうかくじ}	大田区萩中1-13-13	☎ 3731-9212	永正教会 ^{えいしょうきょうかい}	目黒区鷹番2-17-5	☎ 3714-0767